



# つくしんぼだより

## 12月号



平成29年11月24日  
石原かがやきこども園  
体調不良児保育  
担当: 鈴木・青木

早いもので、今年もあと1ヶ月ちよつとなりました。秋から冬にかけて急激に寒くなり、風邪でお休みした子もたくさんいます。園ではこまめな手洗い・うがいを呼びかけ、風邪を予防しています。ご家庭でもお子さまの体調管理に十分な配慮をお願いいたします。

### インフルエンザの対応について

11月中旬頃から高崎市内の小学生でインフルエンザに罹った子がいます。患者日増しにも増加しています。11月20日現在登園ではインフルエンザの報告はありませんが、注意しましょう。園では、発熱は37.8以上でお迎えの連絡をしていますがこの時期は感染防止のため37.5℃以上で連絡を入れさせていただきます。体調がすぐれない時や38度以上の熱が出た翌日などは無理をしないでお家でゆっくり休みましょう。咳の出るときはマスクなどをつけましょう。感染症にかからないように予防しましょう。

### 歯科指導がありました



11月13日に高崎市歯科医師会の衛生士2名が歯科指導に来てくれました。未満児とひまわり組はお遊戯室で行い、すずらん、ばら組はばらの部屋で行いました。紙芝居の読み聞かせや歯の磨き方、虫歯にしないためのお約束など学びました。すずらん、ばら組は6歳臼歯の話も聞きました。6歳臼歯は名前のおり6歳頃になると生えますが早い子は4~5歳ころはえる子もいるそうです。一番奥なので虫歯になりやすいのでよく磨きましょう。仕上げみがきも忘れずをお願いします。



6月に行われた歯科健診で受診のすすめになった方で未受診の方は早めに受診しましょう。その際は園から配布した受診のすすめの用紙も忘れずに持って行ってください。

### おたふくかぜ（流行性耳下腺炎）

#### 病気の説明

耳の下(耳下腺)が腫れたりあごの下(顎下腺)が腫れたりする病気の中で、おたふくかぜ(ムンプス)ウイルスが原因で起こる耳下腺炎・顎下腺炎を流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)といいます。

片方だけの腫れで終わることもありますが、ものが食べられなくなるほどひどく腫れることもあります。

合併症として注意が必要なのは難聴です。片方の耳だけのことが多いので、気づかれにくいようです。その他、肺炎・卵巣炎・精巣炎などを起こすこともあります。

予防接種を打つことによって難聴などの重い合併症を防ぐことができます。1歳を過ぎたら接種可能です。

任意接種ですので、自己負担です。高崎市では5歳未満まで一部公費助成金があります。詳しくは高崎市ホームページをご覧ください。

高崎市内では小学生でおたふくに罹っている子が5~6人程います。(11月17日)

今月つくしんぼ利用状況	発熱	5人	
今月の感染症状況(園)	おたふく	1名	(11月21日現在)